

「品川スチューデントシティ」でのボランティア活動に参加しました！

セブン-イレブン・ジャパン



CSR アクション

2012/12/19

セブン-イレブン・ジャパンは、品川区と公益社団法人ジュニアアチーブメントの協業で実施している小学生の経済活動体験「スチューデントシティ」に2003年より出店協力し、今までに約18000人の小学生が活動を体験しました。また、子どもたちの学習サポートのため、2012年秋からは社員ボランティアも参加しています。

私は、10月27日にボランティアとして参加しました。子どもたちが限られた時間の中で、自然に問題に対して互いにアイデアを出し合い、協力して解決していく姿を目のあたりにして、「お店の原点」を見たように感じました。子どもたちの一所懸命な姿に元氣と勇気もらい、とても充実した一日となりました。



セブン-イレブン・ジャパン
オペレーション本部
荒 絵里子



仮想の街「スチューデントシティ」内に出店しているセブン-イレブン店舗。
LEDの看板をはじめ、最新の設備をそなえたお店です。

子どもたちは、セブン-イレブン店内で接客からレジ操作を行う会計、売場作りなどの商品の販売を行います。また、オペレーションセンターからお弁当の注文を受けて請求書の発行なども体験し、普段のお買い物ではわからない仕事を体験することで、仕事の仕組みを学びます。



社内会議の様子。
店長を中心に子どもたちで意見を出し合い、どうすれば売上を伸ばすことができるかを話し合います。「価格を見直そう」「声かけをしよう」「おすすめをしよう」など、様々なアイデアが子どもたちから出てきます。そのアイデアを実践し、うまくいかない点があれば修正するといった繰り返しを行い、効果的な取り組みを発見していきます。



お仕事の一番人気は、接客とレジ操作！
レジ操作方法もすぐに習得してしまいます。



お客様がより買いやすい売場を目指して、売場
レイアウトの変更も子どもたちが自ら実施。



それでも、売上が伸び悩んだときには、ボラン
ティアで参加している社員から、売上げ向上のた
めのヒントを提供。

売上の成り立ちは、 $\text{売上} = \text{客数} \times \text{客単価}$ である
ことを確認。

売上を伸ばすためには、客数を増やす取り組み
をするか、客単価を上げる取り組みをするのか、
話し合いで決め、具体的な取り組みを考えます。

今回は、子どもたちは客単価を上げる取り組み
を行うことに。



店内でのお買い物は1人2点というルールのため、
1点だけのお買い物のお客様に、もう1
点をおすすめることにしました。



さらに、おすすめの商品を知ってもらうため、
店頭でPR！



子どもたちが積極的に考えて、工夫を行った結果、多くのお客様が来店されました。そして、一時は赤字だった売上も、最後には黒字に！

売上発表時には、とても満足げな笑顔を見せてくれました。

「仕事って大変。疲れるね」そんな感想もいただきました。

スチューデントシティでは・・・

職業体験だけではなく、経済の流れを学ぶために、子どもたちは生活者と社会人としてスチューデントシティの住人を体験します。

①生活者としては、

区役所で、住民登録を行ったり、住民税を払うなどの役割も果たします。
また、社会人として働いて受け取った給料で、街の中で買物をしたり、サービスを受けることができます。

②社会人としては、

それぞれの所属することになった企業などで仕事に従事して、お給料を受け取ることができます。
お給料は、売上げによって変化していくことを学びます。

体験する小学生は、8時間の事前学習を行った上で参加。学習の成果を体験する内容となっています。

セブン-イレブン・ジャパンは、今後も未来を担う子どもたちの健全な育成に取り組んでまいります。